

# アンケート編

## 1. アンケート調査の概要

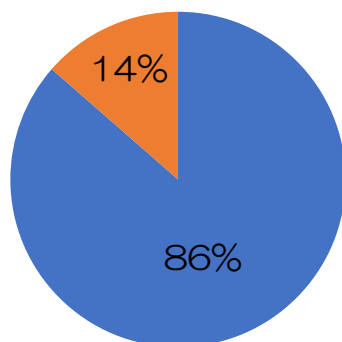
県内の共働き家庭の女性向けに住まいづくりのアンケート調査を実施

・回答者数：221人（福井県独自抽出調査）

※回答者数のうち9名に追加で聞き取り調査を実施し、事例集にまとめました。

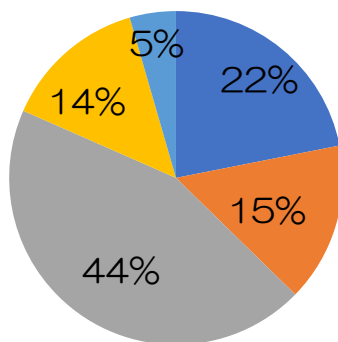
## 2. 調査結果概要

○あなたの住まいは？



■新築の一戸建て ■大規模リフォーム

○住まいの新築、大規模リフォームしたきっかけは？



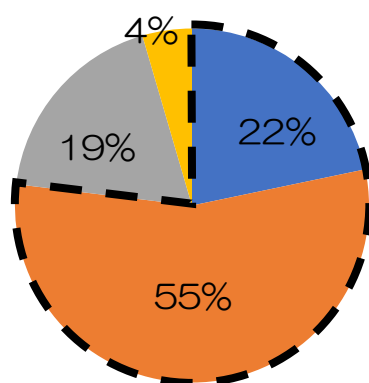
■結婚 ■出産 ■子どもの成長 ■親との同居 ■その他

住まいを建てる（リフォームする）きっかけは、子どもの成長とした理由が最も多く約4割を占め、次いで、結婚、出産、親との同居をきっかけに検討する傾向があります。

（その他）

- ・親と近居するため
- ・住んでいる家の老朽化
- ・福井へのUターンのため など

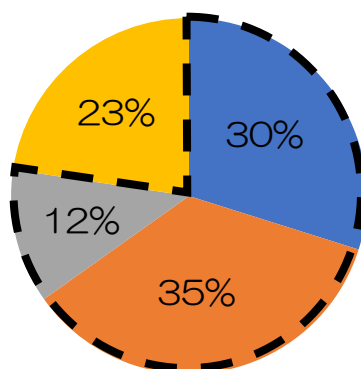
○建築当時の年齢は？



■20～29歳 ■30～39歳 ■40～49歳 ■50歳以上

新築（リフォーム）時期は20歳代～30歳代で全体の約8割を占めています。

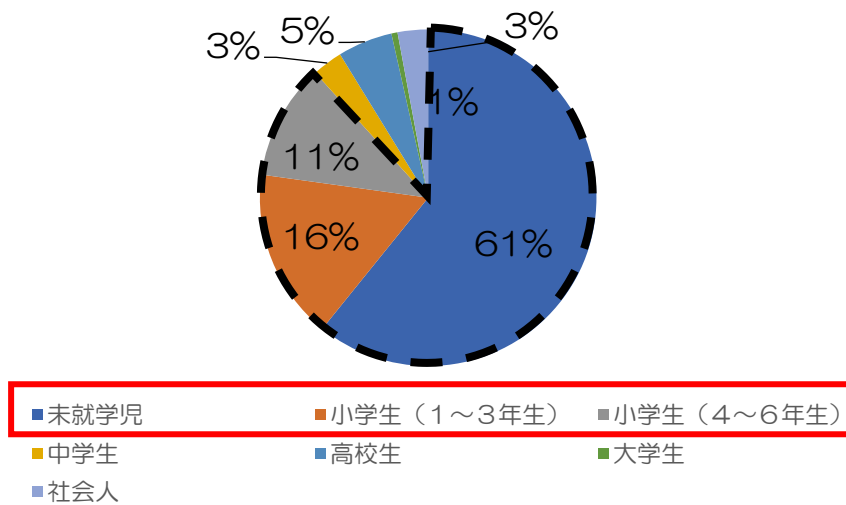
○建築当時の子どもの状況は？



■いた（1人） ■いた（2人） ■いた（3人以上） ■いない

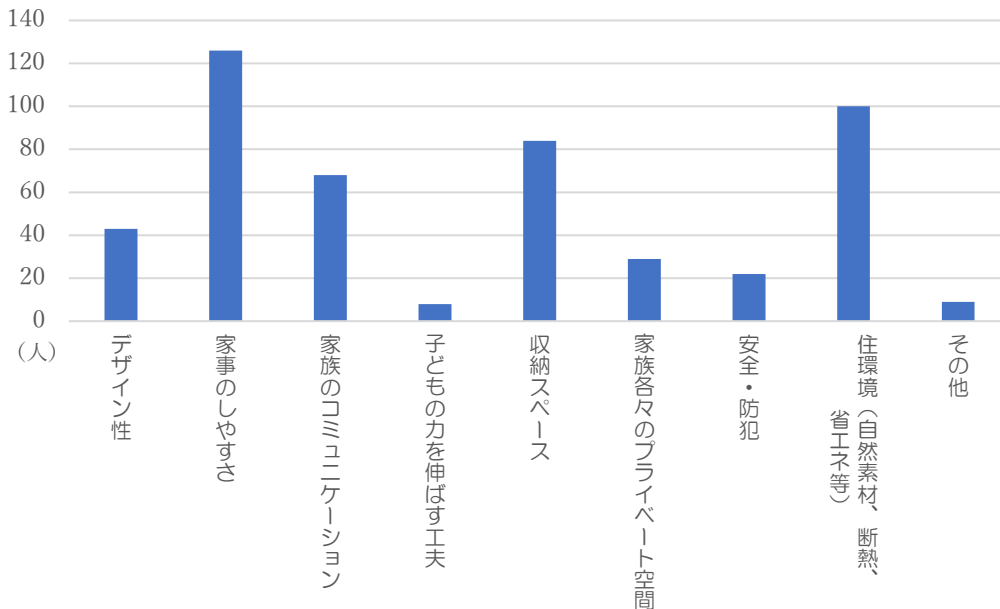
新築（リフォーム）時期に子どもがいる世帯が約8割を占め、特に1人目から2人目で建築する傾向があります。

○建築当時の子どもの状況（一番上の子ども）は？



一番上の子どもが小学校入学前に建築を考える方が約6割を占め、中学校入学前までが約9割を占めており、子どもがいる家庭では、中学校入学前までに新築(リフォーム)を考える傾向があります。

○住まいを新築、大規模リフォームする際に重視した点は？（複数回答）

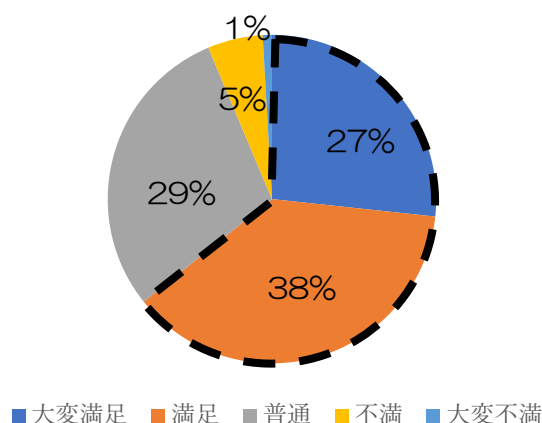


家事のしやすさを重視したと回答される方が多く、次いで収納スペース、住環境などを重視する傾向があります。

（その他）

- ・介護のしやすさ
- ・価格
- ・耐久性のある水回り設備 など

## ○どの程度満足しているか？



住まいに満足されている方が約6割を占めています。

## ○子育てのしやすさや家事の軽減のための工夫点（回答抜粋）

- ▶ 共働きで洗濯物を外に干せないなので、室内（脱衣室付近）に洗濯干場（サンルーム等）を設け、近くに収納スペースを計画した。
- ▶ キッチン横にパントリーを設けた。
- ▶ 家事動線が短くなるよう、キッチン周辺に洗濯・脱衣室、風呂、ファミリークロークを配置し、回遊できる計画とした。
- ▶ 子どもの様子が確認できるよう、キッチンからリビング、ダイニング、和室などが見える計画とした。
- ▶ 収納スペースを考える上で、何をどこに片付けるかまで検討して計画した。
- ▶ 子どもと顔が合わせられるよう、リビング階段にした。
- ▶ ロボット掃除機が使えるよう、住宅内は段差のないバリアフリー構造とした。
- ▶ 買い物から調理までをスムーズに行える動線計画とした。

## ○子育てのしやすさや家事の軽減のための工夫でうまくいかなかった点

（回答抜粋）

- ▶ 収納が多すぎて、逆に不要なものが増えすぎてしまった。
- ▶ 洗濯、物干しの動線を優先した結果、収納スペースが遠くなってしまった。
- ▶ コンセントの位置
- ▶ サンルームは湿気がこもり、思ったほど衣類が乾かなかった。
- ▶ サンルームが図面では広く感じたが、実際使ってみると狭かった。
- ▶ 子どもものもの（絵本、おもちゃなど）が想像以上に増え、収納方法に困った。

### ○新築（大規模リフォーム）時から、将来を見越して工夫した点（回答抜粋）

- 子ども部屋は、壁で仕切らない計画または簡易な間仕切り（建具、家具）とした。
- 親との同居を想定して、1階に和室を設け、同居前は客間として使用する計画とした。
- 将来夫婦だけになった時に、1階で生活が完結できる間取りとした。
- 両親との同居を見越して、建具は引戸としバリアフリー化した。

### ○調査結果のまとめ

- 子どもの成長をきっかけに、住まいを検討される方が多い傾向にある。
- 女性の視点では、家事のしやすさ、住環境、収納スペース、家族のコミュニケーションなど、家事や家族のことを考えた住まいを計画する傾向がある。
- 将来、親との同居や自身の高齢化を考慮して、バリアフリー化や間取りを考える方が比較的多い。